

ホキちゃんだより



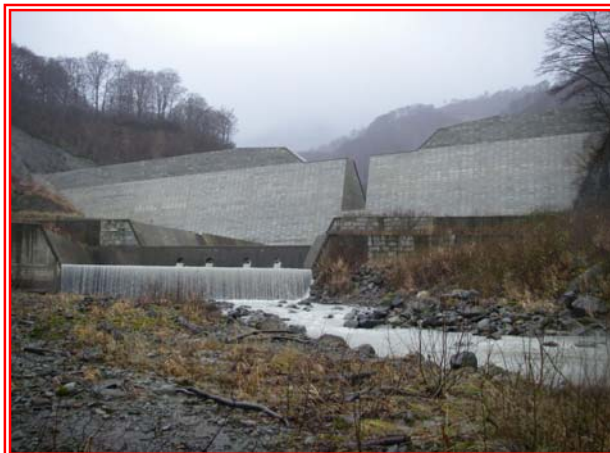
発行 2009. 12 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

濁沢第6砂防えん堤完成!

平成21年度事業の進捗状況をご報告いたします。
かねてより施工中であった「濁沢第6砂防えん堤」が、10月に完成しました。(右写真)

第6えん堤は重力式えん堤であり、INSEM工法という方式が用いられています。その工法とは、ダム建設現場で発生した土砂にセメントに混ぜ込み、えん堤を造るもので、資源を有効活用する工法です。この工法を用いることで、建設コストの縮減にもなり、経済的にも、環境にもやさしいダムが出来上がりました。

位置は上流にあるため、なかなか流域の皆さんの目には留まらないこととなりますが、陰ながら私たちの生活(安全)を護っていくこととなります。



濁沢第7砂防えん堤進捗状況

こちらは平成20年度から施工中で、平成22年度完成予定の「濁沢第7砂防えん堤」です。(左写真)

平成21年度現在の進捗率は50%であり、まだえん堤としての機能は半分以下です。

第7えん堤は重力式コンクリート造となっており、第6えん堤のようにINSEM工法は用いられていません。第6えん堤の説明であったとおりなら、INSEM工法はいいこと尽くめなのだからなぜ用いないのか、という疑問が生じることとなりますが、INSEM工法というのは、えん堤の大きさやその現場の土砂が建材として利用可能かどうか等の条件を満たした上で用いられる工法ですので、第7えん堤には採用されませんでした。しかしながら、INSEM工法は用いないけれど、それ以外の部分で環境対策を行い、より環境にやさしいえん堤造りを心掛けています。

働く男たちの熱いコラム

立谷沢川流域川原通地区溪流保全工工事



現場代理人の

佐藤建設株式会社

佐藤 朋広 さん



川原通地区溪流保全工事は、川の増水により洗掘された岸を護るため、現場で採取した石(大きさは35cm位)を使用して石積を行い、前面に重さ6tのブロックを422個制作して設置する工事です。

立谷沢川は昔から暴れ川で有名でしたが、現在はだいぶ護岸工事も進んで以前より大きな災害は無くなったと思います。しかし、昨年肝煎・狩川地区であったゲリラ豪雨による災害がいつ発生しないとも限りません。それに備え、人命及び財産を守るべくに施工に当たっていきたくと考えています。

最近では子供が川で遊ぶ事が少なくなったと感じています。県内一きれいな川をこれからも維持できるように、子供達がまた川で遊んでくれるように、環境対策にも取り組んでいきたいと思っています。

立谷沢川流域羽黒地区斜面对策工事



現場代理人の
升川建設株式会社
奥山 孝 さん



本工事は出羽三山（月山，湯殿山，羽黒山）の一つ、羽黒山の山頂にある神社境内での斜面が崩れた箇所を直す工事です。

今年、出羽三山の一つ湯殿山が丑年に開かれ、丑年に参拝すれば12回お参りしたのと同じとされることから、例年以上の参拝者が訪れる中での施工ということで、特に第三者への安全対策を確実に実行し、『絶対安全』を合い言葉に作業しているところです。

現場の環境が神社の敷地内ということもあり、神社側担当者との打合せ・連絡等を密にし、トラブルが起これないように注意しています。また、現場までのアクセス道が有料道路・林道になっていることから、交通事故にも配慮する必要があり、冬に向けてより一層気を引き締めて施工していきます。

県内有数の観光地である羽黒山神社を観光されている方々に、悪い印象を与えることなく完成させたいと思っております。

余談ですが、出羽三山が一つの山だということをご存じでしたか？

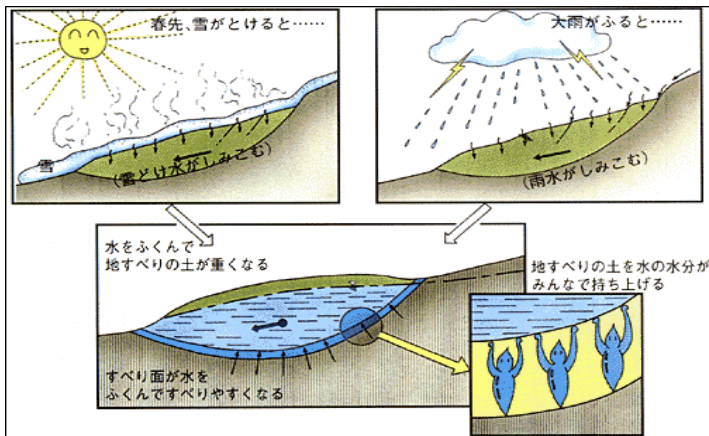
現在（羽黒山）・過去（月山）・未来（湯殿山）の三世に渡って救いの手を差し伸べてくださるということだそうです。晴れの日には周囲の山々や、樹齢数百年の杉の木などがとてもきれいです。一度訪れて見てはいかがでしょうか。

地すべりはどうして起こるの??

地すべりは、大雨や融雪に伴って春先に一番発生しやすくなります。雨水や雪解け水が土にしみ込み重くなり、しみ込んだ水分がすべり面を持ち上げ、地すべりが発生します。ここ数年は暖冬のため積雪は少なくなっていますが気温の上昇による融雪や大雨に対する地すべりには注意が必要です。

《こんなときは要注意》

- ・ 沢や井戸水が濁る
- ・ 地面にひび割れが出来る
- ・ 斜面から水が噴き出す など



～インフルエンザにご注意を～

空気が乾燥する季節になりました。現在流行中の新型インフルエンザに加え、季節性インフルエンザの流行も懸念されるところであります。季節性インフルエンザウィルスに有効とされる対処法をいくつか紹介いたします。

- ・ うがい、手洗い
- ・ 湿度の維持（50%以上）
- ・ 体力の維持（十分な栄養摂取と睡眠時間）

くれぐれもご健康にご留意くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先 《立谷沢川砂防出張所/砂防資料館》

本誌をご覧いただいた感想や、砂防事業などへのご意見・ご質問等をお待ちしています♪

〒999-6601
 東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
 TEL 0234-56-2050
 FAX 0234-56-2081
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>

～砂防資料館～
 開館日：※土日・祝日は閉館しております。
 ※ご利用の際は事前にご予約ください。
 駐 車 場 小型バス3台駐車可

